

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103482
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 玉里
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099 - 220 - 3115
自己評価作成日	平成29年10月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営母体の内科・循環器内科のクリニックが同一敷地内にあり
在宅療養支援診療所の届出をしており、月2回の医師の訪問診療が
受けられる為、病気をお持ちの御利用者にも安心してお過ごし頂けます

いつまでもお元気で生活出来るように、1日30品目の食材料を使用して
高齢者好みのお料理を作り喜んで頂いています

看取りに対応して居り、刻み食やミキサー食を作るなどして、最後まで
お口からのお食事をして頂けるよう工夫しています

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧
してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・1階にデイサービス、2・3階に当ホームがあり、24時間医療連携体制が整っており、終末期から看取りまでの体制もある。
- ・町内会に入り、地域行事に積極的に参加し、地域からの認知症に関する相談を設けている。食材も地域商店で購入するなど日常的に交流している。
- ・災害対策について、消防署の指導の基、はしご車で訓練をしている。
- ・1日30品目の食材を利用した献立で、バランスの取れた食生活を支援している。嚥下体操や口腔ケアを大切にしている。
- ・施設長や管理者は職員育成に力を入れて、職員の働く意欲を引き出している。職員は自らの資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員室用の壁に貼り出して職員は常に理念に目を通すようにしている</p>	<p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念で、玄関や事務所に掲示している。モットーの目配り・気配り・心配りと共にミーティング等で振り返り、理念を共有して実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>歩行や車椅子等で近隣の公園に出掛けたり、タイヨーストアーへおやつを一緒に買いに行く等して、地域と交流出来ている</p>	<p>町内会に加入し、夏祭りや清掃・廃品回収など、地域の行事に積極的に参加し、食材は地域の商店で購入している。中学生や知的障害者の職場体験の受け入れなども行っている。緊急避難場所として、地域に提供したり、認知症相談にも対処するなど日常的に交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>近隣の方からの介護に対する相談に応じている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回、運営推進会議を開き、いろいろなテーマで話し合いを持ち、利用者様方が安全に快適に過ごせるようにサービス向上に努めている</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告・課題を決めての検討会を行っている。そこでの助言で、帰宅願望の強い利用者への対応として、経歴から考慮して、草取りやベランダで野菜を育てる試みをして、落ち着いた暮らしができ、安心されている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>当ホームには家賃が安い為、4名様の生活保護受給者が居られる為、市の担当者の方と連携して協力関係を築いている</p>	<p>市担当者には、電話や窓口に出向き事業所の実情や取り組みを伝え助言を貰っている。生活保護担当者とも密に連絡し合っている。介護相談員も受け入れ、市主催の研修会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>理事長より身体拘束禁止の指令が出て居り、職員はお給料を支払って下さっているのは入居者様方であるとの考えのもと、身体拘束はしないようにしている</p>	<p>身体拘束廃止委員会で定期的に研修を実施し、事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間は施錠せずに、外出傾向の利用者には見守りなど職員間の連携で安全な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会で虐待の事を学び、上記と同じ考えのもとあってはならない事という意識が全スタッフにある</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員は勉強会で利用者様の権利や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、その必要性について理解している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、重要事項説明書の内容についてお話し、改定時にはパンフレット等の訂正や変更などをし、御家族に納得して頂くようにしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>敬老会の後に、家族会を開き御家族から御意見を頂くようにしたり、日常的に面会時に何か御要望はありますか？とお聞きしている</p>	<p>利用者からは意見や要望を聞き、家族からは面会や電話・家族会などが意見を聞く良い機会となっている。事業所行事の時は家族も集まりやすいので、家族会議も行っている。意見が言いやすいように環境を整えて運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者は運営に関して職員の意見を聞き、変更出来るかどうか議論しより良きホームにするよう努めている	施設長や管理者は申し送りやユニットごとのミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	国の処遇改善加算Ⅰを申請し、少しでも多く職員の給与が増えるようにしている 昼食後30分ずつ交代で休憩出来る職員室も整備されている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格のない職員を採用し、初任者研修を受講させて費用は法人負担としキャリアパス要件を満たすようにしている 受講日には休みとなるように勤務日の調整をしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一敷地内のグループホーム良友を訪れる等、交流の機会をつくり、デイサービスを訪問する等してお互いに刺激し合っ、サービスの質を向上させていくようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居された後の何日間かは特に利用者様への声掛けを多くして要望等をお聞きし、不安を取り除く工夫をして安心して生活して頂けるようにする		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の相談に来られた時に困っている事等をお聞きし、入居までの間に対応出来る事があればやっておく 眼の見えない方のベッドの撤去等を行う		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	食事の好みや排泄への対応、歩行や車椅子対応等、初期に心を配る必要がある為、特に入居の初期には目配り・気配り・心配りをする		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	10時・15時のお茶時間には一緒にお茶を飲み、昼食は同じ物を一緒に食べる等して、御家族の代理を努めるようにして暮らしを共にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	御家族に電話を掛けて利用者とお話して頂く等、面会の少ない方には特に気を配り、本人と家族の絆が切れないように心配りをしている		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	誕生会に御家族へ声掛けする等して、面会の機会を増やすようにしている	近所を散歩したり買い物に行ったりする中で、友人・知人との会話を楽しんでいる。墓や馴染みの美容室に家族と一緒に行く利用者もいる。友人や親戚の面会者も多く部屋で楽しくお茶を飲みながら会話している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	テーブルの位置を考えて座る場所を決め、良く話をされる方同志と一緒に座って頂く等、配慮している		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	殆どの方が看取りの後に退去になる為、不要な品を頂いて他の利用者に使って頂く等、工夫している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	朝食後自室へ戻り横になりたい方や散歩に出たい方等、一人ひとりの思いを大切に職員との都合を押し付けないようにして本人本位に対応するようにしている	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。介護相談員からの情報も大切にしている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初、本人や御家族に入居前の生活やサービスの利用等お聞きして、入居前となるべく同じように生活して頂くよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	うつ状態になられる方、不眠の方、心身状況の変化等への対応に気を配り、一人ひとりが楽しく毎日を過ごして頂く様にしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護支援専門員を中心に利用者の課題やケアのあり方について皆で話し合い、利用者本人が安心・安全に過ごせるように介護計画を作成している	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日誌を付けている 日勤帯・夜勤帯に分けてその日の利用者様の様子や状態を個別に記録し、朝の引継ぎ時に報告して職員間で情報を共有しプランの見直しに活かす		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お墓参りに行きたいと仰れば御家族にお願いして願いが叶えられるよう支援したり、肌着を買いにタイヨーストアーへ同行したりと利用者様方の御要望を叶えるようスタッフは心配りをしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園への散歩やタイヨーへの買い物、お手紙をポストにい入れに行く等、すぐ近くにある資源を活用して変化のある安全で豊かな暮らしを楽しんでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの運営母体は内科のクリニックであり在宅療養支援診療所を届出しており、訪問診療を行っている為、受診や往診等必要な医療を受けられる。薬は薬剤師が届けて下さっている	受診は、本人や家族の希望で母体医療機関が主治医となっている。在宅療養支援診療所を届け出ており2週に1回の往診があり、歯科も訪問診療である。施設長が薬剤師で薬の管理や健康管理などとの連携も図られ、緊急時の対応などにも連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療の際は医師と共に看護師が来訪する為、相談することが出来る。また准看護師が勤務しており、医療的なことは安心してケア出来る		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	他所の医療機関への受診は御家族が行って下さっているが入院時には主治医から紹介状を書いてもらう等、サポートしている退院してまた当ホームに帰られたら出来る限りサポートする		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際、重度化対応についての御説明をし、当ホームでの看取りも可能であることの御説明をし、御要望があれば終末期に向けた方針を話し合い、出来る限りのサポートをすべく、スタッフ全員心を一つにしている	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い主治医より状況説明を行っている。本人や家族の意向を随時確認しながら、看取り希望の場合は医師・施設長・職員が連携し、家族と方向性を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	先日もミキサー食を嘔吐後に意識のなくなった利用者様があったが、すぐに医師・看護師の往診があり心臓マッサージを看護師と交代でスタッフも行い、連携が良くとれていると主治医に褒められた		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定した訓練、地震時の避難方法等を想定して話し合い訓練している。市の御指導により飲料水や非常食の確保等行っている。近くの薬局の職員や郵便局の方々に御協力をお願いしている</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練を実施している。同じ建物内の同法人事業所との協力体制もできている。梯子車による3階からの避難訓練も行っている。隣接しているコンビニや薬局・郵便局にも日頃から協力を依頼している。スプリンクラーや火災報知機も設置している。災害時の水・米・果物の缶詰・乾パン・ビスケット・黒砂糖・塩などの備蓄もある。避難場所にもなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフが利用者様に友人と話すような言葉使いをしたりすると施設長は注意をしており、敬語を話すようにして利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉掛けや対応に努めている	マニュアルに沿っての勉強会を実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。トイレ誘導や入浴時などの声かけなど羞恥心に対する配慮がなされている。部屋もプライバシーが守られるようにドアを閉めるように心がけ、必ずノックして入室するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	車椅子から立ち上がられたらトイレへお連れしたり、廊下を歩いて頂いたりして本人の思いや希望をくみとり、自己決定出来るように職員は目配り・気配り・心配りをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ベランダに出ようとされる方はスタッフが付き添って外へ散歩に出掛ける等、本人の動きに合わせてその都度対応し、一人ひとりの願望をくみとり希望に沿うよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御自身で服を選べる方には選んでもらうようにして、おしゃれを楽しみ身だしなみを整えられるようスタッフはサポートしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1日30品目の食材を使って献立を考え、色どりや食器の選定、盛り付けの工夫をする等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。利用者の状態に応じて刻み食・ミキサー食も作っている	一日30品目の食材を使って献立を作成している。旬の食材で嗜好に配慮しながら個々に応じた食事形態を工夫している。片づけを職員と一緒にしたりもする。誕生日や季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事内容に気を配り、バランスの良い高齢者向きの献立を作り、食事量も一人ひとりに合わせて増減している。10時・15時のティタイムや夜間の水分補給等、1日1日の食事に気を配っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には必ず歯磨きをして頂く様にしている 常に口腔内の清潔が保てるよう、スタッフは心掛けている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ポータブルトイレを居室に持ち込んだりトイレ誘導をしたりして、なるべく失敗のないように配りをしている。人工肛門の方も10年以上お世話しており、スタッフは常に排泄の自立に向けた支援をしている	排泄記録での把握やタイミングを見計らったり、しぐさなどから察して周りにきずかれないように声かけ誘導をしている。紙おむつから改善した利用者もいる。排泄がスムーズに行くように食材でも配慮している。日中はオムツでなくリハビリパンツで対応している。人工肛門利用者にも清潔保持に配慮しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事に野菜や果物を多く取り入れる等工夫をしていますが、高齢者は腸の動きが悪くなり便秘になる方が多くなり薬に頼る事も多くなるが、薬を適切に服用してもらい定期的な排便があるようサポートしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の嫌いな方、好きな方、直前に拒否される方、利用者方は一人ひとりその日の気分により変化がある為、一応予定しているが変更することもある	週3回の入浴を行い清潔保持に配慮している。入浴を嫌がる利用者もいるので、職員を変えたり時間をずらしたり、自然に入浴できるように環境作りを丁寧に行っている。無理強いはいしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	12時間眠られる日もあれば殆ど眠られない日もあったりするなど、職員はその時の状況に応じて対応するよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様方は一人ひとり病気が違うので薬も一人ひとり違っている為、間違いのないよう充分注意して服薬支援を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳んで頂いたり、テーブル拭きやホールのお掃除等手伝って頂いている。歌ったり散歩に出掛けたりして気分転換をして頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お天気の良い日に本人のっご希望があれば近所へ散歩に出掛けたり、タイヨーへ買い物にお連れしている。お墓参り等は御家族へお願いして、連れて行って頂けるようにしている	日常的には周辺の散歩に出かけている。計画を立てて、地域の行事や買い物にも出かけている。家族の協力で外出や外食・理美容院利用・墓参など支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各自お預かり金をお持ちなので、欲しい物や足りない物等スタッフと一緒に買い物に行き自分で選んで購入して頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話を掛けたいと仰る方はホームの電話を使って御家族とお話して頂いている。また手紙を書いて頂きスタッフと一緒にポストに入れに行かれる		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは比較的広めに作られて居り、丸テーブルにゆったりと座りソファもある為、ソファに横になられたり座った自由に過ごして頂いている。季節の花や造花を飾りベランダで花を育てている	共用空間は広々として、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。台所は対面式で開放的で会話もしやすい。季節感を大事にした花や植木鉢が飾ってある。大きな丸テーブルと、ゆったりしたソファが多く置かれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座られる位置はだいたい決まっているが、ゲームの時やお喋りの時、自由に位置を代えている。独りになりたい時はソファに腰掛けておられる。テレビの好きな方は良く見える位置に座って頂いている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時家から持ち込まれた物や家具等、一人ひとり好みの物を居室に置き、自分で配置を換えたりして居られる。利用者が心地よく過ごせるようスタッフは配慮する</p>	<p>居室はベッドやタンス・エアコンが設置され、外の景色が眺められ明るい。馴染みの小物を持ち込み、自分で作った作品や家族の写真が置かれゆっくりと過ごすことができる。家具の配置替えや衣がえなども家族と相談しながら行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩ける方や車椅子で動ける方は自由にホールと自室を行き来しておられる。居室とホールが同じ階にある為、バリアフリーであるので自由に動きまわられる</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない